

より良い議会にするために



鈴木前議長へ報告書を提出する小林改革実行委員長

平成16年12月1日に議長から諮問のあった検討事項について、議会活性化検討委員会で慎重に審議しました。

その結果について、実行委員会を立ち上げ次の事項について協議し、議長に報告しました。

議会議員の定数及び議員報酬額について

議員報酬額については、議会だより129号で他の町村や町長、一般職員との比較など実態を公表し、住民に意見・感想を求めましたが、現在のところ寄せられておりません。

再度各会派に意向調査を行ったところ、すべての会派が来年度は現状維持を希望した。但し、次回改選時に改めて検討する意見もあった。同時に費用弁償についても意向調査を行ったところ、すべての会派が来年度は現状維持を希望した。よって来年度は現状維持とし、今後別の機会に検討することとした。

・次回改選時より議員定数は16名に削減した。

政務調査費について

政務調査費支出基準の詳細については、各会派会計担当者会議を開催し支出基準を確認した。

議会の情報発信（公開・提供）施策について

今後わかりやすい議会だよりの誌面とする。

夜間、土日、女性議会等の開催、地域活動、情報提供を図ることについて

夜間、子供議会については、来年度実施するよう執行部側へ申し入れた。実施にあたっては執行部の協力、調整等必要なため、その

旨を執行部側へ申し入れた。

議会中継について

来年度より実施するよう予算要望したが、当面は財政的に厳しいとの報告を受けた。

議会だよりの経費削減、議会だよりの改革について

議会広報の誌面は、広報いなど内容が重複しないこととし、また、町民から意見を聞く体制を構築するよう努め、今後もより良い委員会とする。

議会図書室の充実について

議会図書室の充実についてはロッカー室を図書室に転用した。